



OGAKI KYORITSU

TIMES

パディントン™タイムズ

Autumn

パディントン™タイムズ・オータム
発行/OKB 大垣共立銀行
発行日/2021年10月15日

Vol.99

© P&Co. Ltd. 2021

パディントン™タイムズはOKB大垣共立銀行が編集・発行している新聞です。

TOPICS

2 SDGsへの取り組み
フードバンク活動の推進 ほか

3 OKB45新メンバーでスタート!
OKB5がOKB45の新制服をプロデュース

4 江戸の風情と心意気が息づく
うだつの上がる町並み

11月より取扱開始



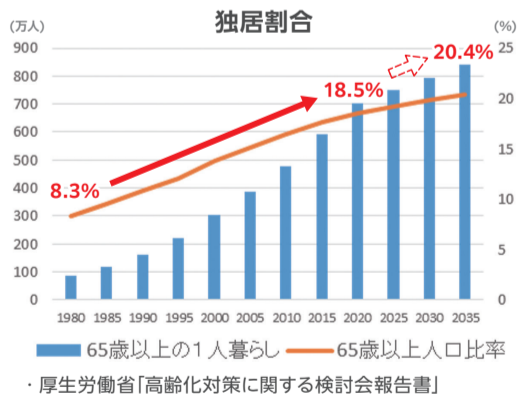
健康口座 for OKB

「健康口座」はこんなに便利!!

- 病気やケガのときに必要なお金を専用口座へ貯蓄し将来の医療費支払いに備えることができます
 - 提携医療機関を受診した際に専用口座からの引き落としで当日の医療費支払いが不要となります
 - 入院時の自己負担分をカバーできる実損補償タイプの医療保険に加入できます
- そのほか、健康に関する付帯サービスが利用できます

65歳以上の約5人に1人(668万人)が独居生活を送り※1

2035年には認知症の人口が800万人に達する※2とも言われています



将来の不安に健康口座で自ら備えてみませんか?

※1 厚生労働省「高齢化対策に関する検討会報告書」

※2 金融庁「金融審議会市場ワーキンググループ事務局説明資料」

「健康口座」の普及に向けた連携協定を締結

～大垣をフィールドに「健康口座」を新たなスタンダードへ～

OKB、大垣西濃信用金庫および日本メディカルビジネス 株式会社は9月28日(火)、「健康口座」の普及に向けた連携協定を締結しました。

今般、大垣を「健康口座」のスタートの地と定め、大垣商工会議所とも連携し、市民や医療機関への「健康口座」の普及・推進に努めるとともに、地域の中核的基幹病院である大垣市民病院において「医療費立替払いサービス」の実証実験に取り組んでいきます。



▲締結の様子

「健康口座」会員サービス※の詳細はこちらから確認できます



<https://www.mfintech.co.jp>

※「健康口座」会員サービスは株式会社メディカルファイナステクノロジーズが提供するサービスです。別途「健康口座」会員サービス会費が必要です。「健康口座」医療保険へご加入のお客さまは別途保険料が必要です

「診察が終わったらず早く帰りたい」医療費の支払いで誰にも迷惑をかけたくない そんなお悩みはありませんか?
OKBでは11月から、お客さまの健康ライフに安心・便利をお届けするサービス「健康口座」の取り扱いを開始します。
医療費の後払いや「健康口座」医療保険など、お客さまの健康・医療に関するお悩みを解消するサービスが利用できます。

ダイヤルサービスセンター

商品やサービスに関するダイヤル窓口です。お気軽にどうぞ。
☎ 0120-888823 サービス番号 111
受付時間/平日9:00~21:00 土・日・祝休日9:00~17:00

ホームページアドレス <https://www.okb.co.jp>



SDGsへの取り組み

OKB「15歳から君にできること」キャンペーンを実施しました

君の手のひらが被災地の希望に

3月から6月にかけて、手のひら認証※を新規登録いただいた、15歳から18歳の個人のお客さまの人数に応じてOKBが寄付を行う「OKB「15歳から君にできること」キャンペーン」を実施し、1,704人の方に新規登録をいただきました。



▲OKB「15歳から君にできること」キャンペーン

今年創立125周年を迎えたOKBからの寄付1,250,000円を合わせ、総額2,954,000円を、東日本大震災で被災した子どもたちへ幅広い支援を届けている「公益社団法人ハタチ基金」に寄付しました。皆さまの「手のひら」を通じて、社会への希望をお届けするとともに、東日本大震災から10年を迎えるにあたり、今一度手のひら認証ATM「ピット」を開発した思いや「ピット」を活用した災害時の対策などをお伝えすることができました。

OKBは今後も、お客さま目線のサービスをお届けするとともに、「災害時の安心と安全」をお届けするため、手のひら認証サービスの普及を行っていきます。

※手のひら認証ATM「ピット」などで使用する生体情報



▲贈呈式の様子



▲被災地となった宮城県牡鹿郡女川町からの現地レポートの様子

ハタチ基金への寄付金額 **2,954,000円** 新規登録者数 **1,704人**
 手のひら認証新規登録者数に応じて **1,704,000円**(1,704人×1,000円) + 創立125周年のOKBから **1,250,000円**



厚生労働大臣表彰を受賞

OKBは、地域社会への貢献を目的に1996年「社会貢献推進委員会」を発足し、2016年から名称を「OKB社会貢献クラブ」として地域と連携を図りながら社会貢献活動を実施しています。

今般、OKB社会貢献クラブが主体となって取り組んできた献血推進活動に対して、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

本表彰は、献血運動の推進に積極的に協力し顕著な功績を残した企業・団体に贈られるもので、本店ビルでのOKBグループ役員による献血協力や、岐阜県や愛知県の赤十字血液センターと協力して、献血センターや献血バスでの協力の呼びかけ・受付・誘導などが評価されました。

OKBグループはこれからも「命をつなぐ」活動に積極的に取り組んでいきます。



▲献血バス

フードバンク活動の推進

7月13日(火)、OKBは企業や個人から譲り受けた余剰食品を施設や家庭に無償提供する活動を行う「フードバンクぎふ」と「フードバンク活動に関する連携協定」を締結しました。

最初の取り組みとして、OKBの3拠点(OKBそらだん広場 荒尾、藤江支店、笠松支店)に余剰食品収集場所を設置したほか、OKBグループ職員で構成する「OKB社会貢献クラブ」による「OKBフードドライブ活動」(OKBグループ職員から家庭で余っている食料品を集める活動)を実施しました。本活動を通じて集まった2,398点の食料品やフードバンクぎふの活動に賛同する「フードバンクぎふサポーター」406名からの支援金442,000円を、同日、フードバンクぎふへ贈呈しました。

今般も、「フードバンクぎふ」と連携したSDGsに関する活動を通して地域の活性化に寄与していきます。



▲締結式の様子

「災害に強い地域づくり」への貢献

9月22日(水)、OKBは株式会社NTTドコモ東海支社(以下「ドコモ」と)「災害時の連携に関する協定」を締結しました。災害に備えて平時から防災啓発活動などで連携し、災害時には、相互が持つ設備や機器、施設などを有効に活用して被災者をサポートすることにより、「災害に強い地域づくり」へ貢献していきます。

災害発生時の対応

●ドコモの災害復旧活動拠点としてOKBの店舗敷地を活用
 ●OKB店舗(29店舗)に配備する携帯電話用充電器(マルチチャージャー)を使用した、携帯電話無料充電サービス



▲携帯電話用充電器(マルチチャージャー)

携帯電話用充電器(マルチチャージャー)を配備するOKB店舗

岐阜県	本店営業部、岐阜支店、関支店、羽島支店、美濃加茂支店、養老支店、赤坂支店、穂積支店、各務原支店、則武支店、県庁前支店、恵那支店、中津川支店、高山支店、多治見北支店
愛知県	名古屋支店、大曾根支店、春日井支店、小牧支店、稲沢支店、中村支店、岡崎支店、なかくて支店、豊橋支店
三重県	桑名支店
滋賀県	長浜支店
移動店舗	OKBスーパーひだ1号、OKBスーパーフロンティア号、OKBサザンウィンド

●移動店舗などによる被災地や帰宅困難者へのサポートなど



OKBサザンウィンド など



ドコモ災害対策車両



OKBキッチンバス
 OKBどこでもマルシェ
 (運営：正和商事 株式会社)

平時の対応

- OKBの手のひら認証サービス※の周知、啓発
- ドコモの災害専用アプリの周知、啓発
- 合同防災訓練の実施など

※平時の「手のひら」認証サービスと「災害時の安心・安全」を追求した、キャッシュカードや通帳がなくても「手のひら」で各種取引ができるサービス

OKB45 新メンバーでスタート!

2013年3月にOKBの広報宣伝ユニットとして誕生した「OKB45」。今般、新メンバー「OKB45(6期生)」の活動がスタートしました。「OKB45」はOKBの顔として、OKBのプロモーション活動を行うとともに、地域のマラソン大会や地元商店街のライトアップ点灯式などに登場し、地域活性化に向けた積極的な取り組みを行ってきました。今後も、店舗窓口以外でもお客さまと接点を持てる機会を創出し、地域の皆さまの身近な存在となるよう、積極的な取り組みを行っていきます。



▲辞令を受けるOKB45メンバー



▲抱負を述べる代表者



▲地元サッカーチームを応援



▲マラソンランナーを応援



▲地元商店街のライトアップ点灯式

地域を盛りあげる OKB45

・写真は2019年以前の活動写真です



制服プロジェクトは
YouTubeの
OKB大垣共立銀行
(グループ)公式チャンネル
にてご覧いただけます



制服プロジェクト

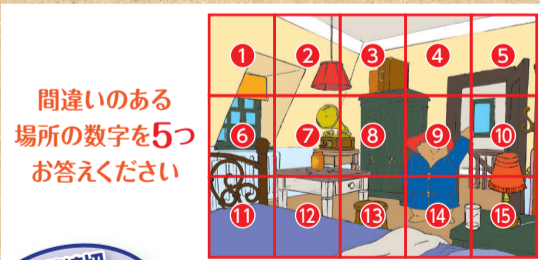
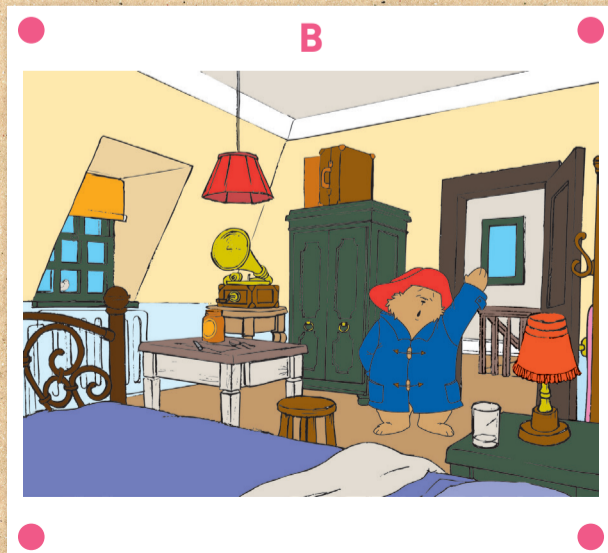
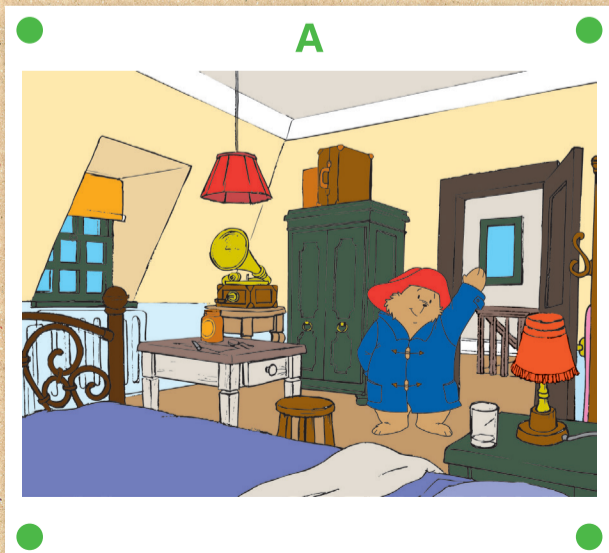
OKB5 seifuku project

OKB45がOKB45の新制服をプロデュース
OKB45新制服を「OKB5(名古屋・栄を拠点に活動するアイドルグループ「SKE48」の5名で構成されるOKBの広告宣伝ユニット)」がアイドル目線を活かしてプロデュース。
完成した制服はOKB45の辞令交付式にOKB5がサプライズゲストとして登場し、初披露されました。
新制服制作の様子はYouTubeのOKB大垣共立銀行(グループ)公式チャンネルにてご覧いただけます。



まちがい探し

下のA・Bの絵には違う所が5つあります
さてどこでしょう?



間違いのある場所の数字を5つお答えください

応募締切 2021年 11月30日(火) 当日消印有効
まちがい探しの「答え」をお送りください。
正解者のなかから抽選で **10名さま**
OKOMEのGaufrettesをプレゼント!!

応募方法
はがきに答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号・OKBとの取引のある方は、取引店名をご記入のうえ、以下の宛先までお送りください。

〒503-8602 OKB「パディントン™タイムズ・プレゼント」係 (住所のご記入は不要です)

・当選されたお客さまには2021年12月下旬頃、賞品をお送りします。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます
・ご記入の個人情報は、抽選および賞品発送を利用目的とし、大垣共立銀行にて適切に管理します

岐阜県
各市町村

観光担当者が

岐阜の魅力を
ご紹介!!

豊かな自然や伝統文化が息づく“清流の国ぎふ”。観光名所や伝統ある祭り、特産品など魅力が盛りだくさんです。このコーナーでは、そんな岐阜県の魅力を観光担当者の皆さまに紹介していただきます。今回は岐阜県美濃市です!



美濃和紙あかりアート展

第18回

必見! うだつの上がる町並み 「美濃和紙あかりアート展」

見どころ
いっぱいですよ!



美濃市
美濃和紙推進課
村瀬さん

美濃市は、岐阜県の中央に位置し、清流長良川をはじめとした自然に囲まれた場所にあります。中心市街地には、江戸時代からの情緒を残すうだつの上がる町並みが広がり、本美濃紙の手漉和紙技術(ユネスコ無形文化遺産)、清流長良川の鮎(世界農業遺産)、曾代用水(世界かんがい施設遺産)がある市です。そんな美濃市の、秋だからこそ、のおすすりめ情報を紹介します。

幻想的な美濃和紙アートがずらり、全国からの作品を展示

美濃市の秋の風物詩である美濃和紙あかりアート展をご存知ですか?美濃市で平成6年にはじまり、以後毎年開催され、今年で28回を迎えるイベントです。イベントの題名にもある「美濃和紙」とは、1300年の歴史をもつ美濃市の伝統産業で、その中でも「本美濃紙」は平成26年に「和紙・日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。美濃和紙あかりアート展は、そんな「本美濃紙」をはじめとした美濃和紙を作品の素材の主として使用し、美濃和紙の特性を活かしたあかりのオブジェをプロ、アマチュア、年齢、性別、国籍問わず全国から公募し、応募のあった作品を一般部門、小中学生部門の2部門に分け、うだつの上がる町並みに展示し審査を行います。例年は、2日間で開催されるイベントですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、10月10日(日)から10月23日(土)の2週間、うだつの上がる町並みにアクリルケースに入れて展示するという形に変更し、開催することが決定しました。江戸時代からの情緒が残るうだつの上がる町並みに美濃和紙が使用されたあかりのオブ

ジェが並ぶ様子はとても幻想的です。ぜひ、ご来場ください。

歴代の入賞作品が一同に集合!

美濃和紙あかりアート展終了の翌日から11月30日(火)まで開催される「あかりの町並み」。歴代の美濃和紙あかりアート展にて入賞した優秀作品がうだつの上がる町並みにアクリルケースに入れて展示されます。

美濃和紙あかりアート展とは違った趣のある作品の数々がうだつの上がる町並みに展示される様子は、美濃和紙あかりア



美濃和紙あかりアート館



あかりの町並み

ト展とはまた違った魅力を感じさせます。

歴史的建造物を活用した美濃和紙とのコラボ空間

昭和16年頃に、美濃町産業会館として建てられた施設を活用し、毎年秋にうだつの上がる町並みで開催される「美濃和紙あかりアート展」を施設2階に完全再現。美濃和紙あかりアート展にて入賞した作品が展示され、幻想的な空間が広がります。1階には和紙製品を販売しているショップもあります。建物は水平線を強調した外観意匠に特徴があり、昭和初期の姿を今に残す建物として国の登録有形文化財にもなっています。

パディントン™タイムズに寄せられたお便り紹介!

パディントン™タイムズに寄せられたお便りをご紹介します
今後も、いろんなご意見・ご要望などをお待ちしています

お便り
ありがとう



© P&Co. Ltd. 2021



▲ちりめんのつるし飾り

いつもパディントンタイムズを楽しみにしています。特に岐阜県の魅力紹介の記事が好きで、必ず目を通しています。

以前紹介されていた所に出掛け、岐阜県の知らなかった良さを知るきっかけとなりました。

最近、コロナ禍の影響で休日の過ごし方もだいぶ変わりました。

今年から、休日ごとに、ちりめんのつるし飾りをコツコツ作り始めました。1体のつるし飾りを仕上げた時の喜びは、何ともいえない嬉しさでいっぱいになります。次は何を作ろうかと考えながら過ごす時間も楽しいひとときです。

人生100年時代

最近、テレビや新聞などのメディアで「人生100年時代」という言葉をよく目にします。近年の平均寿命の伸長とともにある海外の研究では、2007年に日本で生まれた子どもの半数が107歳より長く生きると推計されている。100歳まで生きることが当たり前になる世の中がすぐそこまできているのだらう。そんな平均寿命と併せて重要なこととして「日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義される「健康寿命」だ。医療の進歩とともに平均寿命はさらに延伸することが予想されるが、平均寿命と健康寿命の差は年々拡大傾向にある。こうした差が拡大すれば、医療費や介護給付費などが増大し、医療費財源の不足などが懸念される。今後は個人が将来の自身の健康のために「自助的な備え」に取り組んでいく必要があ

▼OKB大垣共立銀行は「健康口座」の取り扱いを開始する。この口座は病気やケガのときに必要なお金をあらかじめ貯めておくことで、将来の医療費支払いに備えることができる専用口座となっている。また、医療機関での診療後、会計せずにすぐに帰ることができ医療費立替払いサービスなど、提携先が提供する「健康口座」会員サービスも利用できる。▼新型コロナウイルスの影響により、気になる症状があっても院内感染などが心配で医療機関の受診を先送りしてしまう人も多く、病気の早期発見・早期治療こそ健康で長生きするためには重要である。このサービスを利用いただくことで、お客さまの日常的な悩みを少しでも緩和することができれば、OKBはそんな想いを

お便りください!

パディントン™タイムズではあなたのお便りを募集しています。本紙に対するご意見・ご要望やご質問などどんなことでも大歓迎! 原稿を採用させていただいた方には、QUOカード3,000円分を差しあげます。たくさんのご応募をお待ちしています。

宛先

〒503-8602 (住所のご記入は不要です)
OKB「パディントン™タイムズ編集局」